

新たな総合計画の策定及び都市計画マスタープランの改定に係る

第3回まちづくり市民会議 結果概要

《日 時》 平成27年3月28日(土) 13時から15時まで

《場 所》 鴨川市役所4階大会議室

《テーマ》 第1回会議で示された10年後の鴨川市を実現するための重要な取組みについて

《出席者数》 26名

○生活基盤	7名
○産業振興	7名
○教育文化	6名
○保健福祉	6名

《傍聴者数》 1名

1 開会・あいさつ

杉田企画政策課長より、開会に当たってのあいさつを行いました。

【要旨】本日の第3回会議では、前回に引き続き4つの分野ごとにグループワークを行っていただき、第1回会議でお示しをいただいた10年後の鴨川市を実現するための取組みを検討することに加え、その中から重要な取組みを抽出していただくこととしている。皆様には、忌憚の無い、積極的なご意見ご発言をお願いしたい。



2 ワークショップの進め方の説明

配布資料に基づき、ワークショップの全体の流れと第2回目の結果及び第3回目の進め方を説明しました。

3 グループワーク

4つの分野（生活基盤・産業振興・教育文化・健康福祉）ごとにグループワーク（テーマ別ワールドカフェ）を行いました。

【ラウンド①】〈30分〉 第1回会議で示された10年後の鴨川市を実現するための重要な取組みを提案①

第1回会議で示された鴨川市を実現するため、第2回会議で抽出した2つの重要課題に対するそれぞれの分野に沿った取組みをグループごとに話し合い、付箋紙に記入・共有する作業を行いました。

【ラウンド②】〈15分〉 第1回会議で示された10年後の鴨川市を実現するための重要な取組みを提案②

ホストを残し、別のテーブルへ移動し、それぞれの分野に沿った取組みを、付箋紙に記入・共有する作業を行いました。

【ラウンド③】〈15分〉 第1回会議で示された10年後の鴨川市を実現するための重要な取組みを提案③

ホストを残し、別のテーブルへ移動し、それぞれの分野に沿った取組みを、付箋紙に記入・共有する作業を行いました。

【ラウンド④】〈20分〉 重要な取組みを抽出

元のテーブルに戻って、重点的だと思う取組みに1人3つまでシールを貼り、最終的に分野ごとの重要な取組みを抽出しました。



＜生活基盤＞



＜産業振興＞



＜教育文化＞



＜健康福祉＞

4 全体確認(発表)・まとめ、閉会

グループワークの結果により、各分野（各グループ）で抽出された10年後の鴨川市を実現するための重要な取組みは以下のとおりでした。



＜生活基盤＞



＜産業振興＞



＜教育文化＞



＜健康福祉＞

『生活基盤』のグループワーク結果

●：重点的だと思う取組み(1人3つまで)

10年後の鴨川市 重要課題	○「住みたい街づくり」のために・・・ ○「元気」なまちのために・・・ ○「ヤングタウン」のために・・・
①基盤整備 (道路改良・自然環境)	・森林植生図を早く作成すること●● ・森林整備に関する環境税の導入 ・自然環境(特に山)に関して条例化する ・情報共有、具体的な問題を共通認識としてもつ ・民有林に関する地主の意識調査(第三者による整備) ・広域的な防護柵 ・合併浄化槽の推進に予算を付けてもっと安くしていく ・道路、128号線を広げる ・長狭高前交差点に右折レーンを増設 ・国、県、市における道路改良予算の増額
②住環境整備 (狭あい道路・空家対策)	・狭あい道路の解消、都市計画から狭あい道路の項目を外す● ・通学路等の整備 ・路側帯の改良、道路の拡張 ・コミュニティバスをコンパクトにする●●● ・ソーラー活性化● ・空家を都市部の人に割安で貸す ●● ・グループで使用しやすい空家の整備 ・近隣市での対策を参考に(南房総市、勝浦市、館山市) ・市営住宅の老朽化に伴い、空家を格安で貸し出すシステムづくり ・家屋取り壊し後の空き地については固定資産税を上げない●● ・若い人達(大学生、サーファーなど)のセカンドハウスのような低家賃のシェアハウスを推進する●●●●

重要課題	重要な取組み
①基盤整備 (道路改良・自然環境)	・都心部から鴨川への道路整備 ・森林植生図の作成(情報共有)
②住環境整備 (狭あい道路・空家対策)	・コミュニティバスのコンパクト化(ニーズに即して) ・空家、廃校利用の推進(シェアハウス、グループホーム、ホテルなど)

『産業振興』のグループワーク結果

●：重点的だと思う取組み(1人3つまで)

10年後の鴨川市 重要課題	○「地産地消」のために・・・ ○「鴨川ブランド」のために・・・ ○「国際化」のために・・・	○「感幸(観光)」のために・・・ ○「医と観光で職場作り」のために・・・ ○「元気」なまちのために・・・
①第一次産業の振興	・収入の増大● ・営農している方々が、所得が倍増して活気づくこと ・安定的な農業収入の確保 ・農林水産業、酪農は、個人経営ではなく、チームを作る ・集落営農の推進●●●● ・農・林・漁業者の人口増加(できれば若い人達) ・新規就農者が安心して暮らせるよう、地主とのコミュニティを形成する ・シーズンごとの地産地消料理を開発し、アピールする ・飲食店と生産者の連携で計画的に食材を調達する●●●● ・鴨川の売り込むものを体系化し、分かりやすくする	・耕畜連携 ・労働時間の問題 ・首都圏(大都市)との関係を有効に活かす ・学生との協働(商品開発、プレゼンテーション、CM作り) ・鴨川市の売りの強化 ・売り場の整備(朝市、旧商店街) ・徳島県上勝町を視察→鴨川市に何も無いとは思わなくなる ・体験をすること ・農漁業について、市内の住民にも勉強させること ・長狭米のようなブランド品を生み出す
②観光産業の振興	・掘り起こした観光資源を、外に向けてアピールする●● ・観光資源を地元の人々が理解し、自分自身の誇りとしている● ・掘り起こした観光資源をPRし、運用する(活性化) ・誰でも行きやすいように、観光資源のルート化 ・おもてなしの意識●●●●● ・市ホームページの好感度を上げること ・自然景観ではなく都市景観も含めた景観の創造 ・鴨川マリーナ駐車場などの未活用地を再活用する。●	・未活用地を、市場や簡易食堂として再活用し、山・海のもの食べられるようにする ・新たな資源開発(嶺岡牧)● ・元気に働く市民の中に観光客を取り込んで共に楽しむ● ・現行の姿に関して、点検、整備及びリニューアルをする ・地元企業と地元飲食店との協力 ・景色創り(農林漁業) ・一次産業を利用した観光

重要課題	重要な取組み
①第一次産業の振興	・集落営農 ・計画的食材調達
②観光産業の振興	・おもてなしの意識の改善

『教育文化』のグループワーク結果

●：重点的だと思う取組み(1人3つまで)

10年後の鴨川市 重要課題	○「住みたい街づくり」のために・・・ ○「ヤングタウン」のために・・・ ○「人口を増やす」ために・・・ ○「元気」なまちのために・・・
①大学と地域による 一体的な連携	・地域で育てる意識を持つ(あたたかい目で見守る) ・学生の将来を決定させる、それにより鴨川市へ居住、定住させる● ・学生に対して、鴨川市で父母となるよう将来の指導をする●● ・大学では何をテーマに勉強しているかを知り一般市民と学生の接点の手掛かりを探りたい(市民講座など) ● ・大学生が主体となって行事を企画する ・大学生がショップをつくり、活気のあるまちにする ・雇用の拡大(就職先、学生中のアルバイトなど) ● ・寮以外の宿泊場所の確保 ・定期的に地域と大学でイベントを行う ・幼稚園、小学校、中学校、高校、大学間での連携 ・カリキュラムに交流の機会を設ける ・市民と大学生による定期的な会議を開催する ・問題を持っている人々が集まってテーマを設定し、計画・実行していくべきである ・小学校は細分化し、中学校・高校は一校・一貫(市立)にする ・大学生が幼稚園、小学校、中学校、高校を訪問し交流する(小さな子たちの遊び相手など)●
②地元への愛を育てる	・鴨川市の良いところ(有名など)を知る、学ぶ● ・他から来た学生に、鴨川市の魅力を知って、好きになってもらう(市民が紹介する) ・大学の授業や課外活動等で、街の中に入り込んできてもらい、その活動の中で市民と一体化する ・地元の人々が忘れている地元の偉人、歴史、自然を小さい子供の時から教えていく● ・子どもと老人たちとの交流を通して、鴨川市の良い所を見直したり、昔の良かったことを話してもらったりする●●● ・学校の外(外)で教育できる機会を設ける●● ・お年寄りの学校 ・子供を安心して預けられる保育所 ・少子化で学校が少なくなる ・生涯学習の幼稚園版 ・市民講座を開く● ・大学との生涯教育や勉強会の実施● ・外に出ていく(市外に転出する)にしても、良い思い出を持っていてもらえるようにする ・まず、市民一人ひとりが地元の魅力を再確認する(自信を持つ) ● ・地元認知アンケートの実施 ・名勝・史跡での現地学習● ・道徳教育の強化 ・市民交流の場を再認識した上で活用を図る(体育館、市民会館) ・伝統行事の継承により郷土愛を育む ・回覧板の再構築 ・地域の関係を再構築・強化(ただし、会費をなくすなど、ハードルを低くする必要がある) ・広報のページを増やし、市の歴史・魅力を紹介する●

重要課題	重要な取組み
①大学と地域による一体的な連携 ②地元への愛を育てる	・「鴨川」をオール鴨川(幼・小・中・高・大)で教え、学ぶ

『健康福祉』のグループワーク結果

●：重点的だと思う取組み(1人3つまで)

10年後の鴨川市 重要課題	○「健康長寿」のために・・・ ○「子育てがしやすい」のために・・・ ○「人口を増やす」ために・・・	○「住みたい街づくり」のために・・・ ○「ヤングタウン」のために・・・ ○「元気」のまちのために・・・
①子育て世代の生活・働き方に施設や内容がともなっていない	・子どもも大人も楽しめる施設(子育てを楽しめる) ・ディズニーランド● ・ニーズの体系化と対応策検討(コストも含む) ・市独自の育児手当補助をする ・子育て世帯へのアンケートによる具体的な支援 ・共働きしても保育料が高くなるので、働きがいのある料金を設定する ・公共施設の活用による保育施設の増設 ・就労地と保育施設と生活の場(家庭)が近いコンパクトシティ化(昔にかえること) ・子育て家庭が出会う場を身近なところにつくる●● ・子育て安心都市(町)宣言をできるようにする●●●● ・バザーやフリーマーケットを地区で開催し、子供達への支援につなげてゆく●●●	・公園の遊具の整備と種類の充実● ・保育サービス施設の充実 ・指導をされることのない、ほっとすることのできる場をつくる ・職業に見合った保育施設(時間や日数など) ・学童保育を利用しやすい料金にする ・市内の自然公園を利用する ・補助金の充実 ・子育てに関し安価なディスカウントショップがあるとよい ・空家を、子育てに関するコミュニティの場とする ・日曜や祝日でも預かってもらえる保育所の設置 ・廃校の利用(風船バレーボール大会や子育てサロンなど)
②健康づくりに対する市民の意識向上への働きかけが弱い	・企画と実施体制 ・健康に対する協議会が沢山あるので、その会を活用し取り組む ・市内至る所に健康器具を設置する ・市全体で体力アップのチャレンジプログラムを作成する(ウォーキングのまち) ・ちょっとした時間でも参加しやすいように(入り口のハードルを低く設定することで、継続しやすくなるのでは) ・各地区戸別訪問により、広く活動してもらう ・気楽に参加できる雰囲気 ・各地域への健康出前講座の開設 ・周知、参加促進の対応(広報「かもがわ」の活用、ボリュームの検討)●● ・菜の花体操の鴨川 ver や 21 世紀 ver をつくる●●●●	・大人から子どもまで参加できるイベント● ・子育て家庭に、気軽な食育を提供する ・予防医療に力を入れる(予防医療費の手当等) ・市内の海、山、川でとった自然の物を食し、薬の代用にする ・健康であるからこそ、考えが「-(マイナス)」になる(健康に対する意識が低くなる) ・意識のもち方 ・若年層から高齢者までが参加できるゲームなどを町のゲームとして定期的に実施することにより、楽しく健康づくりを行う ・健康づくり(市民体操) ・誰かのために又は生きがいとして、死ぬまで働けるシステムをつくる(生涯学習の講師など) ・市の生涯学習を大いに利用する

重要課題	重要な取組み
①子育て世代の生活・働き方に施設や内容がともなっていない	・公園(もしくは廃校等)でフリーマーケットなどを開催し、子育て家庭が交流できる場をつくる → “子育て安心都市宣言” へ
②健康づくりに対する市民の意識向上への働きかけが弱い	・子どもから大人までが楽しく参加できる市民体操を企画する → 広報でしっかりと周知し、多くの市民が参加できるようにする

配布資料

- (1) 第3回鴨川市まちづくり市民会議のプログラム**
- (2) 参加者名簿(テーマ別)**
- (3) 第1回鴨川市まちづくり市民会議結果概要**
- (4) 第2回鴨川市まちづくり市民会議結果概要**
- (5) 平成27年度鴨川市まちづくり市民会議のプログラムについて**
- (6) 鴨川市都市計画マスタープラン(平成16年3月策定)**

※(3)(4)(6)については、市ホームページ掲載上省略

新たな総合計画の策定及び都市計画マスタープランの改定に係る 第3回鴨川市まちづくり市民会議のプログラム

日時：平成27年3月28日（土）

13:00～15:00

場所：鴨川市役所4階大会議室

《テーマ》

～第1回会議で示された10年後の鴨川市を実現するための重要な取組みについて～

①開会・あいさつ

②ワークショップの進め方の説明

- ・ ワークショップの全体の流れを説明します。
- ・ 第1回及び第2回会議の結果並びに第3回会議の進め方を説明します。



③グループワーク(テーマ別ワールド・カフェ)

- ・ 4つのテーマ（生活基盤・産業振興・教育文化・健康福祉）ごとにグループワークを行います。
- ・ 第1回会議で示された10年後の鴨川市を実現するために、第2回会議で抽出した重点課題の解決策となる取組みを提案します。

【ラウンド①】第1回会議で示された10年後の鴨川市を実現するための取組みを提案①(30分)

- ・ 第2回会議で抽出した2つの重要課題に対して、テーマ別に取組みの提案を付箋紙に記入してください。

【ラウンド②】第1回会議で示された10年後の鴨川市を実現するための取組みを提案②(15分)

- ・ 別のテーマへ移動し、テーマに沿った取組みを提案します。

【ラウンド③】第1回会議で示された10年後の鴨川市を実現するための取組みを提案③(15分)

- ・ 別のテーマへ移動し、テーマに沿った取組みを提案します。

【ラウンド④】重要な取組みを抽出(20分)

- ・ 重要だと思う意見に1人3つまでシールを貼り、最終的に重要な取組みを2つ抽出します。

④全体確認・まとめ

- ・ 本日の成果を発表し、まとめます。

⑤閉会

【ワークショップのルール】

- ・ 自分の主張ばかりせず、相手の話を聞きましょう。
- ・ 人の意見を否定しないようにしましょう。
- ・ 相手の意見のいいところを見つけましょう。
- ・ 進行役の言うことをしっかりと聞きましょう。
- ・ テーマにそった話をしましょう。
- ・ 楽しく、積極的に参加しましょう。



裏面へ続く（今後の予定について）

「まちづくり市民会議」の今後の予定

第1回 日時：平成27年1月24日（土）午後1時～午後3時30分
場所：鴨川市役所 4階大会議室

～10年後の鴨川市を考える～（かもカフェ）

- まちづくり市民会議の趣旨、進め方
- ワークショップの進め方の説明
- かもカフェ（参加者30名を5つのグループに分けて“10年後の鴨川市”を考える）
- 全体確認・まとめ・閉会
 - ・各テーブルでキーワードを3つ提案し、まちの将来像の参考とします。



第2回 日時：平成27年2月22日（日）午後1時～午後3時
場所：鴨川市総合運動施設 文化体育館 2階会議室

～施策の満足度・重要度評価と重点課題～

- ※4つのテーマ（生活基盤・産業振興・教育文化・健康福祉）ごとにグループ分け
- 各テーマの施策の満足度・重要度分析
- 各テーマの重点課題を抽出



第3回 日時：平成27年3月28日（土）午後1時～午後3時
（今回）場所：鴨川市役所 4階大会議室

～第1回会議で示された10年後の鴨川市を実現するための重要な取組みについて～

- テーマ別に取組みを検討・提案
- 重要な取組みを抽出
- ※ワールド・カフェ方式で行い、自分が所属するテーマ以外の取組みも提案する。



第4回会議は、以下の日時・場所で開催します。

- ・日時：平成27年4月26日（日）午後1時～午後3時
- ・場所：鴨川市役所 4階大会議室

※第4回から第6回では、地区ごとのグループ討議を行う予定です。

鴨川市まちづくり市民会議参加者名簿(テーマ別)

(1) 生活基盤

(順不同・敬称略)

No.	氏 名	地区	備 考
1	平野 義孝(ひらの よしたか)	小湊	公募委員
2	飯島 眞澄(いじま ますみ)	江見	〃
3	唐鎌 稔(からかま みのる)	天津	一般社団法人鴨川市観光協会
4	高梨 陽市(たかなし よういち)	吉尾	鴨川市商工会
5	黒木 健一(くろき けんいち)	東条	鴨川ライオンズクラブ
6	黒川 洋子(くろかわ ようこ)	田原	鴨川市消防団(女性消防隊)
7	畠山 秀行(はたけやま ひでゆき)	鴨川	一般社団法人千葉県建築士会安房支部青年委員会
8	高梨 道広(たかなし みちひろ)	田原	鴨川市ケアマネージャー連絡協議会

(2) 産業振興

(順不同・敬称略)

No.	氏 名	地区	備 考
1	石田 三示(いしだ みつじ)	大山	特定非営利活動法人大山千枚田保存会
2	野村 久子(のむら ひさこ)	田原	公募委員
3	伊丹 一茂(いたみ かずしげ)	太海	一般社団法人鴨川市観光協会
4	樋口 洋子(ひぐち ひろこ)	江見	鴨川市商工会
5	飯塚 和夫(いづか かずお)	西条	安房農業協同組合鴨川支店
6	糟谷 英文(かすや ひでふみ)	吉尾	鴨川市酪農会
7	高梨 如美(たかなし ゆきみ)	大山	城西国際大学観光学部(学生)
8	羽鳥 航平(はとり こうへい)	曾呂	〃

(3) 教育文化

(順不同・敬称略)

No.	氏 名	地区	備 考
1	高橋 由(たかはし ちなむ)	鴨川	鴨川不動産鑑定事務所
2	川名 慶子(かわな けいこ)	鴨川	一般財団法人鴨川青年会議所
3	花山 藤太郎(はなやま とうたろう)	鴨川	鴨川市体育協会
4	草間 剛(くさま つよし)	江見	鴨川市文化協会
5	田原 智之(たばら ともゆき)	西条	鴨川市漁業協同組合
6	村永 匠(むらなが たくみ)	西条	亀田医療大学(学生)
7	濱崎 順治(はまざき じゅんじ)	西条	鴨川小学校(教諭)

(4) 健康福祉

(順不同・敬称略)

No.	氏 名	地区	備 考
1	古橋 博子(ふるはし ひろこ)	田原	鴨川市みんなで育て鯛! まちづくり支援事業審査委員会
2	久根崎 克美(くねざき かつみ)	天津	公募委員
3	佐竹 光雄(さたけ みつお)	鴨川	〃
4	高島 祐貴(たかしま ゆうき)	東条	一般財団法人鴨川青年会議所
5	奈良 節子(なら せつこ)	天津	鴨川市食生活改善協議会
6	栗原 博之(くりはら ひろゆき)	主基	主基地区社会福祉協議会
7	福山 鈴佳(ふくやま すずか)	田原	亀田医療大学(学生)

※ 各グループNo.1の方が「グループリーダー(進行役)」となります。

鴨川市総合計画策定及び鴨川市都市計画マスタープラン改定に係る

平成２７年度

鴨川市まちづくり市民会議のプログラムについて

平成２７年３月

都市建設課

1. 平成 27 年度鴨川市まちづくり市民会議の目的

今年度実施している鴨川市まちづくり市民会議は、主に総合計画への反映を目的として、市全体のまちづくりの方向性について、幅広く市民の声を集める場である。都市計画マスタープランにおいても、将来都市像や都市基盤のあり方などに関する市民意向を、計画に反映させていくことが求められている。

平成 27 年度の鴨川市まちづくり市民会議については、主に都市計画マスタープランの地域別構想への反映を目的として、各地域の将来像や課題、今後の具体的な取組の提案など、地域別のまちづくり方針について検討する場となる。

なお、参加者に都市計画分野に限定して議論してもらうことは難しいため、地域のまちづくり全体について意見交換して頂く中で、都市計画に関連する意見を抽出し、計画に反映していく。都市計画分野以外の意見については、担当各課へフィードバックし、必要に応じて総合計画や個別計画に反映していくこととする。

2. 会議の日程

【第 1 回】 ～地域の課題とお宝さがし～

平成 27 年 4 月 26 日（日）13：00～ 鴨川市役所 4 階大会議室

【第 2 回】 ～地域の将来像の提案～

平成 27 年 5 月 24 日（日）13：00～ 鴨川市役所 4 階大会議室

【第 3 回】 ～将来像の実現に必要な取組の提案～

平成 27 年 6 月 27 日（土）13：00～ 鴨川市役所 4 階大会議室

3. 会議の基本的な進め方について

- 市域を 4 地域（鴨川、天津小湊、江見、長狭）に区分
- 地域ごとにグループを分け、各地域に居住している参加者を中心に構成する
- 1 グループ 6～8 名とするが、参加者の居住地に偏りによって変動は可とする
- 原則として、1～3 回目まで同じメンバーで検討を進める
- 各グループにはファシリテーターを 1 名ずつ配置
- 各回とも最後に各グループの代表者が検討成果を発表し、全体で意向を共有する



4. 各回のプログラム概要

(1) 第1回 ～地域の課題とお宝さがし～ 4月26日(日)

- **地域の課題マップをつくろう**
 - ・今現在、地域で課題になっていることや場所の抽出
 - ・今は問題ないが、将来的に地域で課題になりそうなことや場所の抽出
- **地域のお宝マップをつくろう**
 - ・住民が誇りに思っている地域資源・施設の抽出
 - ・あまり知られていない、埋もれている地域の宝の抽出

(2) 第2回 ～地域の将来像の提案～ 5月24日(日)

- **それぞれの地域の強み・弱みを考えよう**
 - ・ワールドカフェ方式（議論するグループを固定せず、移動しながら意見交換を行う方式）で、それぞれの地域の良いところ・悪いところを指摘
 - ・10分4ラウンドで、参加者が自由に地域を選択
 - ・各グループにホストが残り、第1回で出された課題やお宝を示しながら、他地域からみた地域の強み・弱みを抽出していく
- **地域のキーワードを考えよう**
 - ・これまでに出された強み・弱みを踏まえ、自地域の将来像やまちづくりの目標を表すキーワードを検討
 - ・各地域で3～5つ程度のキーワードを抽出
 - ・キーワードから地域が目指すべき将来像を示すキャッチフレーズを提案
 - ・キーワードと将来像は事務局で預かり精査（重複表現等の整理）

(3) 第3回 ～将来像の実現に必要な取組の提案～ 6月27日(土)

- **地域の将来像を設定しよう**
 - ・事務局で精査した各地域の将来像（キャッチフレーズ）を報告
 - ・全体で意見交換をしながら、各地域の将来像を設定
- **地域づくりの具体的な取組を考えよう**
 - ・設定した将来像を踏まえ、それを実現させるための具体的な取組を検討
 - ・行政が主体となって取組むものと住民が主体となって取組むものに分別
 - ・特に重要度が高いと思う取組を3～5つ程度抽出し提案